

なかとんべつ 町議会だより

Volume

236

令和8年7月24日発行



第1回中頓別学園運動会（6月13日）

第2回定例会議決内容	4
私たちの一般質問	6
北海道町村議会議員研修会	10
報告事項	11
宗谷管内町村議会議員研修会・ 議会の動き・編集後記	12

議会トピックス

1. 中頓別学園整備事業の補正予算4億円について、採決を行い賛成4反対2により可決
2. 寿公園遊具更新工事の契約の締結について、採決を行い全会一致で可決。

1. 中頓別学園整備事業に係る予算措置について、過去の定例会の中で追加はしないと町長より答弁があったことを踏まえ、出席の全議員が審査が必要と判断し、本予算に係る詳細な内容の精査を行うため、いきいきふるさと常任委員会で本件をより慎重に審査しました。

中頓別学園整備事業に係る工事請負費（エアコン増設・町産木材活用・舞台装置関係・自動ドア化・その他見込まれるもの・予備費）の補正予算のうち、エアコンの追加に掛かる工事費が適正であるかの審査を行いました。また、当初工事費圧縮のために行なった町産木材の活用に係る費用を削除した経過を踏まえ、本議案に再度工事費が計上された経緯について調査を行なったほか、その他案件についても調査を行い審査しました。

2. 寿公園遊具更新工事では、老朽化し使用が困難となっている遊具を撤去し、新たに幼児用複合遊具のほか、児童用複合遊具がそれぞれ設置され、休憩所も設置されます。

いきいきふるさと常任委員会報告（6月12日）

いきいきふるさと常任委員会（長谷川克弘委員長）は、第2回定例会休会中に付託審査を実施しました。

審査事項 令和8年度中頓別町一般会計補正予算

審査意見

中頓別学園整備事業の補正予算の執行にあたっては事前に議会に対して協議の場を設けて了承を得るとともに、慎重に事業を進めるよう強く求める。

第2回定例会



令和8年第2回定例会が、6月11日から5日間の会期で開催され、冒頭の行政報告で小林町長から1点報告がありました。

1. 令和7年国勢調査結果について

日本国内に住む全ての人と世帯を対象とする国の最も重要な統計調査で、総計法に基づき5年に一度実施される国勢調査の速報値が北海道より発表されました。

当町においては、人口総数が1,415人、世帯総数が724世帯となりました。人口総数では前回の令和2年調査から222人の減で、減少率13.6%。世帯総数では32世帯の減で減少率4.2%となったところです。

一般質問では、通告順に5議員が質問を行いました。

報告では、令和7年度一般会計予算を令和8年度に繰り越して使う「繰越明許費繰越計算書」のほか、町が資本金を出資している「有限会社中頓別振興公社」の令和7年度経営状況が報告されました。

町長から提案された、監査委員及び農業委員会委員の選任同意8件、哺育育成センターの設置及び管理に関する条例の制定及び条例改正のほか、令和8年度一般会計補正予算（いきいきふるさと常任委員会付託により審査）を含む補正予算5件、ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書案を原案可決、選挙管理委員及び補充員の選挙を実施し12日に閉会しました。



第2回定例会で 決まりました



議決内容

○同意第2号 監査委員の選任同意

監査委員 代藏 恵三 氏(再任)
任期満了に伴い、代藏氏の選任に全会一致で同意しました。

(任期4年 令和8年7月9日)

令和12年7月8日

○同意第3号から同意第9号 中頓別町農業委員会委員の選任の同意

石橋美代子氏、宗像宏史氏、十倉仁氏、姉齒義宣氏、佐藤秀樹氏、石黒和浩氏、白取美紀氏

農業委員会等に関する法律により、全ての委員が議会の同意が必要となったことによる選任の同意。

○議案第47号 中頓別町哺育育成センターの設置及び管理に関する条例の制定

道営草地畜産基盤整備事業で整備した哺育育成センターについて、通年で哺育育成が可能となり酪農経営の分業化を図るとともに、中頓別町における農業経営の安定に寄与するため条例を制定するもの。

※哺育育成センター

牛その他の家畜を飼養する施設

○議案第48号 地域づくり活動支援補助金条例(一部改正)

地域づくりに向けた学びを支援していくため、セミナー及び講演会に関するメニューを新設し、補助金の上限を設け期間は設定せず町民が継続的に学習機会を得られるよう支援するための改正。

るメニューを新設し、補助金の上限を設け期間は設定せず町民が継続的に学習機会を得られるよう支援するための改正。

○議案第49号 こども支援センター設置条例(一部改正)

こども支援センターの開設許可を受けるにあたり、条例の内容に一部修正が必要となったことによる改正。

※こども支援センター

特別な配慮が必要な幼児及び児童を支援する多機能事業所

○議案第50号 地域づくり活動支援補助金条例(一部改正)

中頓別小学校と中頓別中学校が一つとなり義務教育学校「中頓別学園」となったことから小学校を義務教育学校の名称に変更するための改正。

○議案第51号 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例(一部改正)

中頓別小学校と中頓別中学校が一つとなり義務教育学校「中頓別学園」となったことから小学校を義務教育学校の名称に変更するための改正。

○議案第52号 物品売買財産の取得

循環農業支援センターのホイールローダーを購入するため。

※循環農業支援センター

有機質資源(家畜糞尿)で有機堆肥等を製造する施設

○議案第53号 工事請負契約の締結

教職員住宅解体及び中頓別学園学校長住宅新築工事の契約を締結するもの。

○議案第59号 工事請負契約の締結

寿公園遊具更新工事の契約を締結するもの。幼児用・児童用複合遊具をそれぞれ設置し新しいものになります。

○議案第54号 一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ4億7千9百66万円を追加し、歳入歳出の総額は99億2千410万円に。

歳出の主なものは、人事管理事務事業2千630万円、中頓別町電子自治体推進事業2千38万円、国民健康保険病院事業運営補助事業1千610万円、中頓別学園整備事業4億52万円などを追加するもの。

○議案第55号 国民健康保険病院事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ2千743万円を追加し、総額は6億1千958万円に。

旭川医科大学との連携による離島・へき地における看護師の特定行為研修推進モデル事業実施にかかる経費600万円及び調理業務を委託するため2千960万円、看護現場におけるデジタルトランスフォーメーション実証事業にかかるシステム利用料18万円などを追加するもの。

○議案第56号 水道事業会計補正予算

収益的収支の収入支出既決予定額にそれぞれ100万円を追加し、総額は1億5千928万円に。配水管修繕費を追加するもの。

○議案第57号 介護保険事業特別会計（保険事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算額にそれぞれ106万円を追加し、歳入歳出の総額は2億3千740万円に。介護保険システムの改修委託料を追加するもの。

○議案第58号 介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）補正予算

既定の歳入歳出予算総額に変更はありませんが、総務費に係る節内の予算の組み換えを行うもの。

○選挙第2号 選挙管理委員の選挙

丸山博光氏、鳥田博氏、大野賛知子氏、矢上裕寛氏

選挙管理委員について全ての委員が任期を迎えたことによる選挙。

○選挙第3号 選挙管理委員補充員の選挙

土屋智香子氏、姉齒拓也氏、高橋恵美子氏、小林真由美氏

選挙管理委員補充員について全ての補充員が任期を迎えたことによる選挙。

○発議第1号 ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書

※ ○は原案可決

あなたの写真を表紙にしませんか？

中頓別町議会では、町民の皆様が撮影した写真の募集をはじめます。応募いただいた中から選考し「なかとんべつ町議会だより」の表紙とさせていただきます。

応募資格 中頓別町在住の方

募集内容 人物、風景など中頓別町で撮影したもの。中頓別町の魅力や元気が出る写真を募集します。

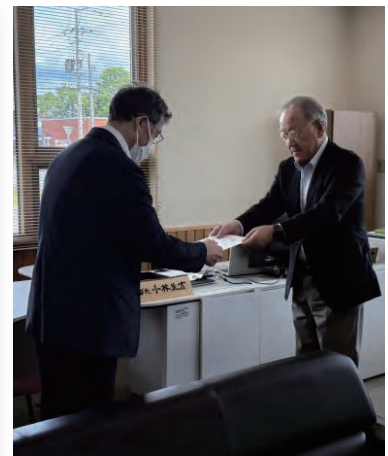
応募方法 下記アドレスに、件名を「なかとんべつ町議会だより 表紙写真」と書き、連絡先（電話番号、氏名、住所）を記入の上、写真を送付してください。



gikai@town.nakatombetsu.lg.jp

※募集は随時しております。

不明な点は議会事務局（6-2244）まで連絡してください。



監査委員の選任同意にともなう
代藏恵三氏への辞令交付

令和8年第3回臨時会

（5月21日）

令和8年第3回臨時会が5月21日に招集され、承認1件、議案1件を承認及び原案どおり可決しました。

○承認第2号 専決処分の承認を求めることについて（税条例（一部改正）（令和8年3月31日専決）

○議案第46号 工事請負契約の締結について（令和8年度配水管布設替工事）

※ ○は原案可決

全員協議会の報告

（5月14日）

5月14日に全員協議会を開催し、住民通報による病院の公金支出の実態を把握するため、病院事務長より関係する職員等に聞き取りをした結果と対応について報告を受けました。内容については、使用料等の基準や住宅を使用する際の決まりを作り運用していくとの報告を受けました。

ここが聞きたい、知りたい

私たちの一般質問

蓮尾純一議員



質問

行政改革に向けての決意はどの程度あるのか

行政改革について、これまで進まなかった原因と現在の課題をどのように認識しているのか。また、見直しを検討している事務事業や住民サービスへの影響、学園建設との関係をどのように整理し、町民へ説明していく考えか伺います。さらに、従来の慣例を見直しながら行政改革を進めるに当たり、どの程度の覚悟と決意を持って取り組む考えなのか、町長の見解をお伺いします。

答 弁 ○小林町長

行政改革が進まなかった要因は、人員不足や推進体制が十分に整備されていなかったことにあり、その責任は私にもあると認識しています。現在は事務事業の見直しを進めている段階であり、具体的な削減対象は未定だが、

まずは住民生活への影響が少ない内部管理経費の削減を優先する考えでいます。学園建設は財政負担の要因ではあるが、将来的な施設統合による財政効果も見込み、持続可能な行政運営に向け行政改革を着実に進めていきます。

質問

新規事業の検証はどのような基準で行っているのか

町長就任後に開始した新規事業について、期待した成果を十分に上げていない事業も見受けられるが、これまで投入した予算規模や一般財源の状況をどのように分析しているのか。また、事業効果の検証やPDCA（※）はどのように実施し、継続・縮小・終了を判断する基準をどのように定めているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

過去12年間で新規事業は9事業から29事業へ増加し、一般財源は累計約11億4千万円となっている。各事業は人口減少対策を柱とした総合戦略に基づき実施しており、多くは当初の目的を果たしていると認識している。毎年、外部評価や庁内協議を行い、「拡大・維持・縮小」の方針を整理しながら必要性や妥当性を検証し、その結果を翌年度の予算編成へ反映しています。

※PDCAとは

Plan（計画）、Do（実行）、Check（評価）、Action（改善）の4段階を繰り返す自治体の施策や事務事業を継続的に改善するための管理手法。

質問

基幹産業である酪農業に対する支援について

資材価格や飼料価格、人件費の高騰により酪農経営は厳しい状況が続いている。現在の支援制度だけで十分と考えているのか。また、施設整備だけでなく経営支援や後継者対策を含め、基幹産業である酪農業を将来にわたり維持・発展させるため、今後どのような支援策を講じていく考えか伺います。

答 弁 ○小林町長

酪農は本町の基幹産業であり、資材価格の高騰や後継者不足など厳しい経営環境にあることは十分認識している。施設整備支援は継続するが、それだけでは課題解決は困難であるため、酪農ヘルパー組合や哺育育成施設の活用、労働力確保、法人化への対応など経営全体を支える支援も必要と考えています。今後酪農家や関係機関と協議を重ねながら、持続可能な酪農経営を支える施策を検討していきます。

西浦 岩雄 議員



質問

学芸員の必要性について

中頓別の歴史的な財産、豊かな文化資源を学校教育と地域振興に活かすための学芸員（※）の必要性和役割をどのように認識されているのか。また現状の資料管理体制の課題をどのように認識しているのか？さらに現状学芸員を配置するのが困難な場合、地域おこし協力隊として学芸員、学芸員補を募集することを考えているか伺います。

答 弁 ○大島教育長

議員のご指摘のとおり中頓別町には豊かな自然環境、開拓の歴史など地域に受け継がれた多くの地域資源があります。学芸員は、地域資料の収集・保存・整理・調査研究を専門的に担うだけでなく、子どもたちや地域住民へ、

わかりやすく伝えていく役割を果たすものと考えています。特に中頓別学園においては、町の歴史や文化を体系的に学ぶ機会を充実させることが重要であり、その際に専門的知見を持つ学芸員の役割は大きく、よってその必要性については十分に認識しております。また現状の資料管理体制については、既存の職員が資料の収集・管理を行って資料の散逸、劣化をなるべく起こさないようにしています。

一方で学芸員は専門性の高い職種であり、全国的にも人材確保が容易ではない状況にあります。加えて小規模自治体は人的・財政的体制の中で課題もあります。議員が提案された地域おこし協力隊での学芸員・学芸員補の採用についても十分認識して今後検討していきたいと思っています。

※学芸員とは

博物館法に基づき博物館、美術館などで資料の収集・保存・展示・調査研究・教育普及を担う専門職で地域文化の継承と活性化に関わる職員。



吉田 智一 議員



質問

職員の職場環境と公共施設のセキュリティ対応について

町の職員確保については、採用希望者も少なく人員不足により苦労している状況かと思えます。ここ数年ではこれから活躍を期待する時期に突然退職する職員が複数件見受けられ、その理由には私的な事情や役場職員として働くのに限界を感じた職員もいたとは思いますが、当町の役場を退職し他町の役場職員となった職員も複数名いたことを考えると、個人の事情というよりは、当町の職場環境に問題が無かったのか疑問に感じるところがあります。

少ない職員で多くの仕事を行うことで、時間外勤務の増加や職場内での人間関係に問題が無かったのかなど、状況についてどの様に分析し、また対策

をしてきたのであればその内容について伺います。次に、時間外勤務について、役場庁舎ではセキュリティの関係でICカードキーによる対応で出入りした個人の出入時刻も記録され、退庁時間にも制限があると思いますが、役場庁舎以外の職場では、職員の責任において勤務時間に関係なく職場への出入りが自由にでき、時間外勤務の報告も無い場合もあるなど、いつ誰が出入りしたかの確認もできない状況にあると思いますが、現状での時間外勤務については、勤務時間と業務内容の把握についてどのように行っているか伺います。また、勤務に関係なく夜遅くなど職場に出入りしている状況もあるのではないかと思います。各職場のセキュリティについてどのように考えているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

途中退職する割合は多くなってきたと感じています。退職の要因では、約半数は結婚や介護、配偶者の転勤など家庭の事情と聞いていますが、その他は個々の事情によるものと察しています。人間関係などの問題については、配置も含めて対応に努めていますが、退職者が増えないよう今後も対応を重ねていきたいと思えます。職場環境では、採用難のため途中退職による人員補充ができない時期もありますが、定

年延長のほか、社会人採用により現時点では概ね職員数は確保できていると考えています。勤務時間増加の要因は、人事異動や担当業務の変更や時期的な繁忙による要因が多く、相対的には恒常的な増加状況は少ないと捉えています。町では労働安全衛生上の観点から、一般職は月の超過勤務が30時間以上、管理職は月45時間以上の場合に内容と改善内容を報告し対応に努めています。職場内においては、時代の変化と共に、人間関係の距離感やコミュニケーションの一助になっていると考えています。時間外勤務についてですが、庁舎外の各施設では、時間外勤務が必要な場合には従来どおり管理職に内容を申請し、命令簿で決裁を行っています。また、時間外における入退出の管理状況については、教育委員会および保健福祉課は会計年度任用職員を含む時間外の勤務が必要な職員、こども園は職員のみ合鍵を持ち、国保病院は事務長及び係長、看護部職員が合鍵を持ち入退出を日誌上で管理しています。職員においては、業務以外で職場に出入りしないことを前提にしており、職員の常識と信頼関係の元に運用しています。公共施設へのカメラ設置はこれまで防犯面で検討していましたが、個人情報取り扱いの重要性も高まってきていますので、改めて内部協議が必要だと考えています。

宮崎泰宗 議員



質問

中頓別学園の工事費増額は現実的な財政見通しを示したうえで必要最小限に

この4月に旧中中学校舎で開校を迎えた中頓別学園。新校舎は今年度完成する計画であるが、現在のホルムズ危機による原油不安やナフサ不足は、工期や予算に影響しないのか。

今定例会では、昨年3月に契約した53億円超の工事費に、さらに4億円を追加する補正予算が提案されているが、本当にそこまでの予算化が必要なのか。もっとも大きいのはエアコンの追加分で、およそ1億5千万円、現状でも20台は設置されることになっていながら、さらに34台追加して全部で54台設置することであるが、暖房設備はあるのだから、これをクーラーに変えるだ

けでも相当費用は抑えられるはずであり、過剰な予算化自体、行政の基本原則である最小の経費で最大の効果に反するのではないかと。そもそも、これだけの増額を行う上では、まず先に現実的な財政シミュレーションが必要ではないか。大きな歳出削減ができない場合、この10年以内に財源不足を起こす可能性もあるのではないかと。今の子どもたちが中心となる未来に希望を残せるよう、歳出削減に努めるときではないか。また、学園生活の状況では、部員数が不足していないにもかかわらず、活動できなくなった部活動があると聞く。学園の開校とともに子どもたちの選択肢が減ってしまうことが目指すべき姿なのか。新施設に対しては、ウォーキングのような軽めの運動から本格的なトレーニング器具の導入に期待する声が一定数あるように思うが、利用時間や利用料等、多くの方が活用できるものとなるのか。

答 弁 ○大島教育長

施事業業者との協議の中では、工程管理を適切に行いながら、今年度内の完成に向け進めているところであり、現時点で大幅な工期変更が必要な状況には至っていない。

部活動の現状においては、生徒数や指導体制、活動環境等を総合的に勘案しながら学校において整理しているが、

教育委員会としても適切な指導、助言を行っていく。遅れてはいるが、生徒の選択肢が狭まることのないよう、合同チームや地域連携、クラブ化等も含め、部活動の地域展開について協議会を設置する等に向けた取組を始めたところである。

新施設の地域利用については、軽運動からトレーニング利用まで、幅広い年代の方が利用しやすい環境整備について検討を進めているところで、利用時間や利用方法、使用料等については、学校利用との調整を図りながら、現在整理を進めている最中である。

答 弁 ○小林町長

53億円の工事内容については、現在の中東情勢などもあり費用が上昇している部分もあるが、予算内に抑えられる見込みである。今回の4億円については、エアコンや町産木材の使用箇所、舞台装置や地盤改良等の工事を追加するに当たり、過疎債で充当できない部分が出ないよう、7月の変更申請に向け最大限予算化しておきたい考えで、エアコンや建築資材等の調達そのものが困難となり、価格が上昇する可能性なども加味したことから、高額な内容になっている。ご指摘のとおり、行政運営においては「最小の経費で最大の効果」を基本とすべきだが、安全性や利便性向上のために必要と判断した。

今後の財政見通しについては、複数のシナリオを想定する時間をいただき、現実的なシミュレーションをお示しいたい。



高橋憲一 議員



質問

風力発電建設計画の進捗状況について

現在、計画中の風力発電計画の進捗状況をお知らせください。また再生エネルギー全般に渡って、環境破壊や災

害誘発の観点から、首長の反対意見、住民の反対運動が起きています。道内の事例を見ても、建設後に問題が起きているように思われます。「いきいきふるさと常任委員会」の意見にもあるように、町として条例の制定は必須だと思いますが、現在検討しているのか伺います。

答 弁 ○小林町長

当該計画の環境アセスメントの評価内容が今夏にも示して頂けると考え準備をしているところです。建設候補地の住民生活への影響、動植物の生態系に対する懸念を持つているため、町の実情に合わせて重点的に強化すべき事項を整理しています。

本町には環境基本条例がありますので、要綱も選択肢の一つに検討しているところです。

質問

病院の方向性は決まってきたのか

昨年度の「町長がおじゃまします」で、今年初めに住民への説明をするとの方針でしたが、未だ行なわれていません。病院経営の現状と、方向性についてどのように考えているのかお知らせください。また、住民への説明の予定があれば教えてください。

答 弁 ○小林町長

病院の方向性については、町民の皆さんの不安の声も大きいことに配慮をし、慎重に検討を進めていかなければならないと考えています。予定していた説明会については、診療報酬の改定に関する判断もあり開催が遅れてしまいました。ただ、できるだけ早く開催する必要がありますと考えています。病院経営の現状としては、令和7年度で約一億円の赤字決算となっており、医師、看護師不足に伴う、出張医、派遣看護師にかかる経費の負担増、調理員不足による実施形態の見直しなど、経費負担が増加しています。また収益が伸び悩んでいることから、財政面で厳しい状況となっており、早急な対策が必要となっています。今後の予定としては、広報6月号で経営分析結果を掲載してお知らせするとともに、現状の診療体制に支障をきたさないよう維持するとともに、運営形態の見直しを検討し、早急に町民に説明会を開催いたします。



質問

学校建設の進捗状況は

現在建設中の中頓別学園の進捗状況はいかがか。この定例会で提出された増額案の他に、今後の建設費の見通しはどのように考えているのか。特に中東情勢の不安定化で、建設業界に不安が広がっているように思うが、学校建設に影響は出ないと考えているのか。

答 弁 ○小林町長

建設中の中頓別学園につきましては、今年度完成に向け、概ね計画通り工事を進めているところです。これまで、建設資材費の高騰や、物流の不安定化、労務単価の上昇と、建設業界を取り巻く環境は大きな変化がありますが、施工業者との工程会議を継続しながら、現時点では大幅な工期の遅延が生じる状況ではありません。今回提案の増額補正は、現段階で必要とされると判断したもの、整理したものであり、これ以上の負担が生じないよう施工業者と十分協議して進めています。しかし、世界的な情勢の変化が、資材価格や供給に影響しないとは断定できる状況ではありません。国や道、建設業界の動向を注視しながら適切に対応するとともに、財政負担の均衡に十分配慮して事業を進めます。

質疑・質問は要約されています

スペースの都合上、審議した議案や質疑・質問と答弁の内容を要約して載せています。会議の内容は、会議録に詳細に記録されており、ご覧になりたい方は議会事務局までお問い合わせください。

全道町村議会議員研修会報告

(報告者…吉田 智一)

7月2日、札幌コンベンションセンターで全道の町村議会から議員、事務局職員総勢約1,800人が参加し、北海道町村議会議員研修会が開催され、2名の講師による講演があり、研修を受けてきました。初めに「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」と題し、関東学院大学法学部地域創生学科 牧瀬 稔教授より、地方創生の振り返り、政策目標、日本の将来人口推計について、地方創生の政策目標として、人口維持を目指した政策と人口減少を前提とした政策を目標とし、地方創生は「人口減少の克服」と「地域経済の活性化」また、対象層や対象地域などターゲットを絞ることの重要性。人口減少は避けられないが、問題は「減ること」ではなく、「選ばれなくなること」であり、「誰に、何を、どこまで届けるか」を絞る覚悟があるかが必要であり、地方議会は、人口減少時代に対応した政策の優先順位を示す役割があり、地方創生とは、地域の未来をあきらめないこと。との講演がありました。次に「どうなる政治・経済」日本再生のために何が必要か」と題し、ジャーナリスト 須田慎一郎氏より、今後の景気状況について経済の動きだけで予測を立てているが、政治の動きを見なければ予測ができない。政治の動きとして、現在の総理大臣の施政方針演説はこれまでの演説とはちがいが、ほとんどの政策内容について本人の考えが反映され、重要なメッセージがある。その施政方針のうち半分が景気経済対策であり、高市政権の看板政策は責任ある積極財政を掲げている。具体的にはガソリンの暫定税率の廃止により国民はすでにその恩恵を受けている。これに対し報道では財源確保が無い等批判的であったが、この政策には、個人消費が拡大し、景気回復に繋がりが税収が増える試算があった。現在は消費税の減税や給付付き税額控除、皇室典範改正法案、定数削減法案等検討しているが、なかなか協議が進んでいない状況であるなど国会の現状についての話もあり、興味深い講演でした。

北海道町村議会議長会会長から自治功労者へ表彰状

6月9日札幌市で開催された令和8年度北海道町村議会議長会第77回定期総会で自治功労者の表彰がおこなわれ、町村議会議員として15年以上在職されている宮崎議員に地域の振興発展に寄与貢献した功績が称えられ表彰状が贈呈されました。また、町村議会事務局長として7年以上勤務し、勤務成績が特に優秀な職員として今野事務局長が表彰されました。



報 告 事 項

※ 町が出資する法人等は、毎年度、経営状況を議会に報告しなければなりません。

報告第5号 有限会社中頓別振興公社の経営状況報告

寿レクレーション施設、一般廃棄物処理施設、鍾乳洞ふれあい公園、国保病院管理清掃、有害鳥獣処理施設業務等を営む同社全体の令和7年度決算状況は次のとおりです。

当期純利益が2,987,202円となりました。

●損益計算結果、貸借対照表

・収益合計	96,394,601円
・費用合計	92,702,657円
・営業利益	3,691,944円
・当期純利益	2,987,202円
・資産合計	43,177,180円
・負債合計	4,808,602円
・純資産合計	38,368,578円



有限会社中頓別振興公社

故細谷久雄さんに叙勲伝達

故細谷久雄さんが平成23年5月から14年間、中頓別町議会議員として議会運営に尽力され、町議会発展のため努力されたご功績により旭日単光章を受章され、小林町長からご遺族（細谷ひな子氏）に勲記と勲章が手渡されました。



※ 繰越明許費（くりこしめいきょひ）は、予算に計上されているが、年度内に支出が終わらないと見込まれるものについて、予算に定めることにより、翌年度に繰り越して支出することができるものです。

報告第1号 令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
重点支援交付金事業	45,171
住民事務事業	1,980
養護老人ホーム運営事業	58
水道事業運営補助事業	2,200
下水道事業運営補助事業	14,800
中頓別学園整備事業	69,382
特別会計繰出金事業	58
河川災害復旧事業	75,000
合 計	208,649

報告第2号 令和7年度水道事業会計予算繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
簡易水道等施設整備費国庫補助事業	5,494
合 計	5,494

報告第3号 令和7年度下水道事業会計予算繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
特定環境保全公共下水道整備事業	46,540
合 計	46,540

報告第4号 令和7年度介護保険事業特別会計（施設介護サービス事業勘定）繰越明許費繰越計算書の報告

（単位：千円）

事業名	繰越金額
施設介護サービス事業	58
合 計	58

※ 令和7年度から令和8年度に上記事業予算が繰り越されました。

宗谷管内町村議会議員研修会報告

毎年開催されている管内の議員研修会は枝幸町議会担当により5月19日稚内市で開催された。

今回の講演の演題は「宗谷管内のこれまでの災害とこれからの防災対策について」で稚内地方気象台次長 今井達也氏が講演を行った。宗谷地方の地震については、記憶に新しい令和8年1月から2月にかけて発生した地震について、震度1以上が延べ44回（うち震度3は5回）ということであった。また宗谷地方にある「サロベツ活断層」による地震は発生すると、マグニチュード7.6という令和6年1月1日に発生した「能登半島地震」に匹敵する地震が発生し大きな被害が発生する可能性があるとのこと。（活断層地震は地震発生時期の予測は不可能）また、宗谷管内に災害をもたらした大雨と暴風雪事例については平成26年から令和7年までに4回ほど発生し主に利尻、礼文、豊富、稚内市を中心に大雨で床上浸水、床下浸水、牧草地の冠水などが発生し、中でも平成26年8月23日から24日にかけての大雨災害では礼文町で2名の方が亡くなっている。最後にこれまでの北海道の気候変動（気温、雨、海水温）と適応策では2019年より気温の上昇が顕著となっていて夏日、真夏日が増加し逆に真冬日は減少してきている。一方、気温の上昇により作物などの栽培適地が広がっていて、当町でのワイン用ブドウの栽培が紹介されていた。講演のまとめとしては、地球温暖化による気温上昇により、北海道でも大雨や短時間強雨の頻度は増加している。また今年の1月を中心にした宗谷地方での地震発生からもわかるように地震・津波のリスクがあるので日ごろからの備えが必要。また大雨と暴風雪での危険な場所からの「避難」は、悪天候になる前に完了しておくことが重要であると強調されていた。（警戒レベル4までに避難が必要！）

（報告者：西浦岩雄）



議会の動き

5月

- 9日 北海道植樹祭（枝幸町）
- 14日 全員協議会
商工会通常総会
- 19日 宗谷管内町村議会議員研修会（稚内市）
- 20日 観光協会通常総会
- 21日 第3回臨時会
- 24日 中頓別消防団春季消防演習
- 25日～27日 町村議会議長・副議長研修会（東京都）
- 29日 議会運営委員会

6月

- 1日 議会運営委員会
- 9日 北海道町村議会議長会定期総会（札幌市）
- 11日～12日 第2回定例会
- 13日 中頓別学園運動会
- 18日 全員協議会
議会広報編集特別委員会
- 27日 認定こども園運動会
- 30日 戦没者追悼平和祈念式
なかとんミーティング

7月

- 2日～3日 町村議会議員研修会（札幌市）
及び八剣山
ワイナリー
視察



- 6日 議会広報編集特別委員会
- 14日 議会広報編集特別委員会

発行 中頓別町議会
編集 議会広報編集特別委員会
お問合せ 北海道枝幸郡中頓別町字中頓別172番地6
tel (01634) 6-2244（直通）・fax6-1155
e-mail gikai@town.nakatombetsu.lg.jp

編集後記

6月に入り夏の行事が次々に開催される時期となり、13日には第一回中頓別学園の運動会が開催され、1年生から9年生の76名全員が「つくる・つながる・つみあげる」をテーマに一生懸命競技で競い合っていました。

今年は天候にも恵まれ、一生懸命競技をしている子供たちに、保護者などの声援や保護者も協力する競技には進んで参加するなど、会場全体が一体となって運動会を盛り上げていました。高学年の生徒は自分たちで考えた競技で競うなどテーマに沿った運動会になったと思います。

27日には、認定こども園の運動会が開催され、雨のため町民体育館での開催となりましたが、子どもたちは元気に練習の成果を発揮していました。

また、最近では居住地に近い場所でのヒグマの痕跡などが増加しているようですので、ウォーキングなどされている方は、熊対策の備えが必要かと思えます。

議会広報編集特別委員会（吉）